

壇の岡

努力を積み重ねれば
平凡は非凡に変わる

波 遺伝子学の第一人者である筑
大 大学名誉教授の村上和雄
先 先生は、いわゆる「火事場のバ
カ力」に関して、とてもわかり
や すい解説をしておられます。
極 限状態で発揮される人間の力
が、なぜだんは眠っているの
か。それは、そうするための遺
伝子の機能が通常はOFFにな
っているからで、このスイッチ
がON状態になれば、ふだん
も火事場のバカ力を発揮する
とが可能だということです。そ
し、その存在能力をONにする
には、プラス発想や積極思考な
ど前向きな精神状態や心の持
ち方が大きく作用しているとい
ます。思いの力が私達の可能性
をおおいに広げてくれるという
ことは、遺伝子レベルで明らか
に、ちなみに、どれくらいのこと
が人間に可能だと思いますか。
実 は人間の頭で、これをしたい、
こうあってほしいと考えられる
ようなことは、遺伝子レベルで
見れば、たいへん可能な範囲に
あるそうです。つまり「思った
ことはかなえられる」能力が、
私たちの中には存在しているの

です。志を高く持つことは大事です。ただし、それを実現するには、目標に向かつて一歩一歩積み重ねる地道な努力をかけることはできません。

夢と現実の大きな落差に打ちめられることもあるでしょう。けれども、結局のところ、人生とはその「今日一日」の積み重ね、「いま」の連続にほかならないのです。

一秒の集積が一日となり、その一日の積み重ねが一週間、その一月、一年となつて、気がついたら、あれほど高く、手の届かないように見えた山頂に立つていたというのが、私たちの人生のありようなのです。すぐに結果を求めても、今日一日をきちんとかくありたいと思ひ描いた点までの近道などないのです。

千里の道も一歩からで、どんな大きな夢も一歩一歩、一日一日の積み重ねの果てに、やつと成就するものなのです。今日一日をないうしろにせず、懸命に、真剣に生きていけば明日は自然に見えてきます。その明日をまた懸命に生きれば一週間が、一週間が懸念に生きた一週間を懸命に生きてくれば一ヶ月が見えてくる。つまり、一ヶ月が見えてくると、すぐに未来を見ようと

7月14日(金) 第13号
発行責任者
鮫川中学校長 角田敏文

教育目標

心身を鍛えたくましい生徒	心豊かで思いやりがある生徒	よく学び自己を高める生徒
心い心	心しい心	よく心
強	美	学

力試し・実力テスト

いたずらに明日を心配し、思い悩んだりしなくても、まずは今日一日を充実させることに力を注いだほうが結局、夢を現実のものにできるのです。

【参考文献】生き方 稲森和夫

3年生の第一回は終了しており、19日（水）には1・2年生で実力テストが実施されます。実力テストは、中学校での学習範囲全てから出題される場合が多く、今までの学習の成果が試される試験になります。また、県立高校の入試により近い形で出題される傾向にあります。

自己採点↓分析(反省)↓計画
→ 実践(テスト)↑作戦↑練習 ←

このサイクルの繰り返しにより、最後には喜びを得ることが出来ます。そのため学年では、実力テストの大切さを話すとともに、励ましを行っております。

週
の
行
事
予
定

22	21	20	19	18	17
土	金	木	水	火	月
県中体連総合大会 （7月24日）（月）	夏期休業日 （8月20日）（日）	1学期終業式 愛校清掃・部活動中止	1・2年実力テスト NO部活動デー	防犯教室	海の日

大丈夫ですか！

歯の治療は済みましたが？**予防**
↓**早期発見**↓**治療**が大切です。夏
休みを有効に使い、必ず治療を行
って下さい。

「ひっばたいでも」

歯磨きの習慣を
つけさせてほしかった」

と入れ歯になった今、そう思う